

2月24日(水)～3月23日(水) 満月セレクト

— 今回のセレクト —

Music Selector : 稲葉 智美



稲葉 智美

大学在学中からラジオDJとして活動。現在、夕方の情報番組JFN「News Delivery -Evening Edition-」でDJを務めるほか、J-WAVE「MAKE IT 21」でアシスタント。東京メトロのフリーペーパー「metropolitana」で“地下鉄で読むラジオ”がコンセプトの音楽コラムを連載中。ワインイベントのプランナーとしても活動している。

今回のセレクトCD

- 

1. Ballake Sissoko / At Peace (No Format NOF21)
アフリカの国、マリの伝統楽器コラの巨匠。21弦を爪弾いて演奏するコラはハーブや日本の箏に似た音がします。ギター、チェロ、バラフォンを加え、国境を越えたオーガニックな室内楽という雰囲気。ハーブやアロマオイルを使うようにこの音楽をお試しください。降り注ぐ音が心穏やかな気持ちにさせてくれます。
- 

2. Rachael Dadd / We Resonate (Talltree TAL080)
実験的なフォーク音楽を奏でるイギリスの女性ミュージシャン。ウクレレ、クラリネット、手作り木琴、スティールドラム、マッチ箱、手拍子…まるで道具箱から飛び出してきたような音が楽しい、クラフト感あふれる1枚。あなたの中に眠るピュアな感性に共鳴(resonate)するかもしれません。
- 

3. Tatiana Parra & Andres Beeuwsaert / Aqui (Celeste CMYK6303)
ブラジルの実力派女性シンガーと、アルゼンチンのピアノ奏者のデュオ作。タチアナの美しい歌声と、透明感あふれるアンドレスのピアノが、バレエのパ・ドゥ・ドゥのごとくピタリと寄り添い躍動する1枚。特に11曲目「Milonga Gris」で見せるスキヤットとピアノのユニゾンに流れる水のように見事！
- 

4. Juan Pablo Di Leone / Sin Palo (Independent NRT1013)
上で挙げた曲「Milonga Gris」は春風のようなアレンジでこちらのアルバムでも聴けます。昨年タチアナ&アンドレスと一緒に来日していたアルゼンチンのフルート奏者ファン・パブロ・ディ・レオーネのソロ作。わたし自身、子どもの頃にユーフォoniumという目立たない低音楽器を吹いていたので、花形のフルートには憧れがあります。
- 

5. Joni Mitchell / Travelogue (Nonesuch 79817-2)
ハービー・ハンコックやウェイン・ショーターを迎えたシンフォニックなセルフカバー作品集。再構築によって過去の曲に新たな視点を与えるだけでなく、ボーカルにも曲にも30年の熟成が感じられるドラマチックな仕上がりに。ジョニにとって旅とは、進化か、逃避か、それとも人生そのものか。